



等身大で奏でる、私のロック

リルサエ
Lilsaeさん



世界に一つだけのカスタムギター。自身の名前やラメが入ったこだわりの相棒を抱えるのは、ソロアーティストのLilsaeさん(18歳)。ロックを軸に音楽制作に取り組み、SNSを中心に、リアルな思いを込めた共感性の高い楽曲を発信しています。高校3年の夏、1st single『Break the Chains』をリリースしました。

幼い頃からチャアやヒップホップなどのダンスを学び、音楽に触れてきた彼女。小学6年の頃には、ロサンゼルスで開催された世界大会に出場した実力派です。ダンスを通じて幅広いジャンル・時代の音楽に出会う中で、ロックの虜こよさに没頭します。次第に、その魅力を自らの手で多くの人に届けたいと思うようになりました。中学3年の頃、海外アーティスト・NIRVANAの影響を受け、貯金したお小遣いで初めてのギターを購入し、音楽の世界に飛び込みました。

「自分らしさを大切に、妥協せずいい音楽を作ることがモットーです」と笑顔を見せます。

SNSでは、国内外から応援の声が寄せられています。そうしたファンが存在を支えに、学校生活と音楽活動を両立しています。デビュー後、初めて観客の前で演奏したのはラジオの公開収録。演奏を聴いて笑顔になるファンの姿を見て「もっと大きな舞台で演奏したい」と思いを強めました。一方で、緊張で声が震え実力を出し切れず、悔しさも残りまりました。その思いは「次こそは」という向上心へと変わり、活動の原動力になったと話します。

今年3月、フェスの出場を懸けたオーディションを契機にサポートメンバーを募集しました。80組の応募の中からステージを一緒に創り上げる同世代のメンバーを選出し、今後は仲間と共に、新たな一歩を踏み出します。

「目標は武道館」。夢の舞台に向けた若きロックスターの挑戦はまだまだ続きます。



▲高校3年の文化祭での様子

cover

「こどもたち一人一人が自分の未来を守る社会」を目指してきた「おおぶフェアトレードタウン推進委員会」の取り組みが実を結び、市は全国8都市目のフェアトレードタウンに認定されました。マルシェには多くの市民らが訪れ、その門出を祝いました。



式典の様子